

平成30年度 現地検討会実施状況

(森林計画等)

19

国有林	641
民有林	6
自治体	12
事業体	44
研究機関	9
その他	3
合計	747

分類	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」(札幌地区)	6月13日	天然力を活用した多様な森林づくり検討チーム	岩見沢市国有林 空知森林管理署 万字担当区 26 は林小班	国有林	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林へ誘導するための検討会を実施し、局・署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	各(支)署で事前検討資料から施業方法等を検討の上、検討会へ参加。 グループ単位で現地確認を行い、伐採・搬出・更新方法等を検討し、事前検討したものを含め検討結果を発表し各参加者と意見交換を行う。 意見交換では、深畔林や湿地の施業方法、伐採の生産性や木材の安定供給と多面的機能の発揮の線引きのむづかしさ等の意見が出された。 今後、署でも現地検討会を行い来年度の事業につなげていくようにする。		
					74名				
					民有林				名
					自治体				名
					事業体				名
					研究機関				名
					その他				名
合計	74名								
林内で施業方法等確認									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」(北見地区)	7月31日	天然力を活用した多様な森林づくり検討チーム	遠軽町国有林 網走西部森林管理署 安国担当区 301ぬ林小班	国有林	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林へ誘導するための検討会を実施し、局・署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	各(支)署で事前検討資料から施業方法等を検討の上、検討会へ参加。 グループ単位で現地確認を行い、伐採・搬出・更新方法等を検討し、事前検討したものを含め検討結果を発表し各参加者と意見交換を行う。 意見交換では、伐採幅の方向、広葉樹間伐の試行、広葉樹稚樹の活用等の意見が出された。 今後、各署1箇所以上で現地検討会を行い、来年度1箇所それに基づいた事業を行う。		
					72名				
					民有林				名
					自治体				名
					事業体				名
					研究機関				名
					その他				名
合計	72名								
パネルを使った意見発表									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」(旭川地区)	8月1日	天然力を活用した多様な森林づくり検討チーム	下川町国有林 上川北部森林管理署 然別担当区 238に林小班	国有林	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林へ誘導するための検討会を実施し、局・署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	各(支)署で事前検討資料から施業方法等を検討の上、検討会へ参加。 グループ単位で現地確認を行い、伐採・搬出・更新方法等を検討し、事前検討したものを含め検討結果を発表し各参加者と意見交換を行う。 意見交換では、誘導伐の考え方、植栽と天然更新で補う方法、地掻き施業等の意見が出された。 来年度1箇所は事業実施を行うことと監督時等、業者への伝え方の議論の必要性が言われた。		
					95名				
					民有林				名
					自治体				名
					事業体				名
					研究機関				名
					その他				名
合計	95名								
検討会の開催									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」(帯広地区)	8月28日	天然力を活用した多様な森林づくり検討チーム	本別町国有林 十勝東部森林管理署 本別森林事務所 233に・ほ林小班	国有林	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林へ誘導するための検討会を実施し、局・署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	各(支)署で事前検討資料から施業方法等を検討の上、検討会へ参加。 グループ単位で現地確認を行い、伐採・搬出・更新方法等を検討し、事前検討したものを含め検討結果を発表し各参加者と意見交換を行う。 意見交換では、大型機械を使った地替えや前生更新稚樹活用の、ドローン・全天球カメラを利用した林況把握等の意見が出された。 今後、署でも現地検討会を行い来年度の事業につなげていくようにする。		
					80名				
					民有林				名
					自治体				名
					事業体				名
					研究機関				名
					その他				3名
合計	83名								
水資源整備事務所からの発言									

平成30年度 現地検討会実施状況

(森林計画等)

森林計画	森林認証継続審査に係る勉強会	9月19日	網走南部森林管理署 オホーツク総合振興局東部森林室	北見市（オホーツク総合振興局東部森林室） 津別町（道有林）	国有林	5名	SGEC森林認証を受けている国有林と道有林との間で認証森林の管理や継続審査等の情報共有を図るため	東部森林室会議室において、道有林での森林認証継続審査概要等の説明を受け、その後審査における確認事項などについて道有林の現地で意見交換を行った。国有林の参加者からは「現地審査はどのような場所を選定したのか」「現地での確認事項はどのようなことか」などの質問があった。 今後も認証森林の管理等について国有林・道有林で連携を図りながら情報の共有を図っていくこととした。	
					民有林	名			
					自治体	2名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	7名			
現地で意見交換									
森林計画	相互交流現地見学会	9月21日	北海道大学雨龍研究林 空知森林管理署北空知支署	幌加内町（民有林【雨龍研究林】）	国有林	6名	朱鞠内未立木地対策及び低コスト造林対策の情報収集、意見交換のため	北大雨龍研究林内の天然更新作業地を見学。樹冠下掻き起こしや表土戻しなどの天然更新作業について意見交換を行った。 意見交換では、幌加内町林務担当者から「研究林としてどのように森林を管理しているのか理解が深まった」当支署からは「表土戻しを行うことによる天然更新木の成長の旺盛さや、掻き起こしについては針広混交林を目指す上で参考になった」等の感想が出された。	
					民有林	名			
					自治体	3名			
					事業体	名			
					研究機関	9名			
					その他	名			
					合計	18名			
樹冠下掻き起こし箇所での意見交換									
多様な森林づくり	天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	9月27日	宗谷森林管理署	宗谷森林管理署 30ほ林小班	国有林	20名	国土保全や水源涵養など国有林の有する公益的機能の持続的な発揮を重視した管理経営をより一層推進し、多様で健全な森林づくりを進めるため、伐期を迎えた人工林を対象に天然木や稚樹の活用を積極的に進めるとともに、かつて北海道にあったような針葉樹と広葉樹が混交した多様な樹種で構成される森林への誘導を目的に、各職員が考え方の統一を図るため	今後主伐期を迎える林分の増加に伴い更新面積が増えることが予想され、低コストでの更新、造林コストの低減を図ることが重要である。 天然更新が可能な箇所については積極的に取り組むことを念頭に、主伐予定箇所（6年生のカラマツ人工林）において、各班が現地踏査・ドローン撮影写真等の資料を参考に、今後の伐採方法、収穫調査の簡素化、天然力を活用した更新方法を現地で検討、発表することにより各職員の多様な森林づくりへの技術力向上を図った。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	20名			
今後の施業について検討、意見交換									
森林計画	民国連携現地意見交換会	10月4日	留萌北部森林管理署 留萌振興局森林室	天塩町（国有林） 天塩町（民有林）	国有林	6名	国有林の持っている技術情報の提供、技術的助言をととして地元林業関係者の育成に貢献するため	国有林では天然力を活用した多様な森林づくりを推進していることから「帯状の更新伐（誘導伐）」実行箇所において、担当者から更新伐の目的、更新方法、安定供給システム販売などについて説明を行った。参加者からは、「コンテナ苗の調達状況」「材の採材方法」などについて質問があった。 森林組合の間伐予定箇所では、担当者から林業専用道の一部を拡張して土場として利用しているなどの説明があった。説明後、間伐予定箇所の林分状況を確認するため、当署のドローンによる空撮を実施した。 意見交換会終了後、各機関から「今後も新しい知見の研修会を行ってほしい」「ドローンによるオルソ画像化の手法を教えてほしい」などの要望が出された。	
					民有林	名			
					自治体	4名			
					事業体	2名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	12名			
土場を見学									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」(函館地区)	10月10日	天然力を活用した多様な森林づくり検討チーム	八雲町国有林 渡島森林管理署 八雲担当区 164に林小班	国有林	66名	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林へ誘導するための検討会を実施し、局・署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	各(支)署で事前検討資料から施業方法等を検討の上、検討会へ参加。 グループ単位で現地確認を行い、伐採・搬出・更新方法等を検討し、事前検討したものの含め検討結果を発表し各参加者と意見交換を行う。 意見交換では、地掻きの成功例・失敗例、カンバー斉林の施業方針、林地傾斜による伐採列の向き等の意見が出された。 今後、署でも現地検討会を行い来年度の事業で1箇所以上多様な森林づくりを進めるようにする。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	66名			
局長も議論に参加									

平成30年度 現地検討会実施状況

(森林計画等)

多様な森林づくり	天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月18日～19日	網走西部森林管理署西紋別支署	滝上町国有林 札久留担当区21と林小班 紋別市国有林 上渚滑担当区1075い林小班	国有林	23名	天然力を活用した多様な森林づくりの推進に向け、国有林職員及び関係事業者のスキル向上と共通認識の醸成を図る	【18日】 初めに局長による講話があり、その後参加者全員で現地の現況確認をしながら、生産や造林など今後の施業の方向について検討を行い、意見交換した。 【19日】 5～6人ずつ4班に分かれ、現地を見て今後の施業について検討し、その後各班の検討結果を発表し、意見交換を行った。 検討結果を踏まえ、広葉樹の多い箇所を伐採区域から外したり、皆伐予定箇所を択伐に変更したりするなど施業を変更することとした。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業者	12名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	35名			
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」現地検討会	10月24日	後志森林管理署	寿都町(国有林)	国有林	15名	職員及び事業者が「天然力を活用した多様な森林づくり」に対する共通認識を持ち、伐採や更新など今後の施業の方向性を現地で検討するため	次年度伐採予定箇所において、事業者も交えて現況林の評価と伐採・収穫調査・更新方法に係る検討を行った。 意見交換では「急傾斜で、高性能林業機械が使用できない箇所が多くある」「更新後、気象害の危険性が大きい」「ベテラン作業員がいなくなると、点状の伐採を実行するのは難しい」などの意見が出された。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業者	2名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	17名			
多様な森林づくり	天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月25日	空知森林管理署北空知支署	幌加内町(国有林)	国有林	9名	天然力を活用した多様な森林づくりについて、①主伐期を迎えた人工林の伐採による収穫量の確保と木材の安定供給②国土保全等公益的機能の維持・増進を図るため、天然林の保残等による森林の造成③伐採方法、収穫調査、更新方法等のトータルコストの低減を図ることを目的として現地検討会を実施	検討にあたっては、前提条件として考慮すべき各種法令等による制限内容や、水利等の留意事項について資料により確認し、その後、①森林の現況を評価した上での施業方法②将来の目標林型の判断③効率的な収穫方法④高性能林業機械等を活用した低コスト作業の実施について現地検討を行った。来年度についても職員間のスキルアップを図るため現地検討会を開催予定。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	9名			
多様な森林づくり	天然力活用を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月25日	網走中部森林管理署	置戸町19林班(国有林)	国有林	23名	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林への誘導に関する検討会を実施し、署の職員が多様な森林づくりに対する共通認識を深め、今後の施業の方向性を確認する	職員に対し森林づくりに対するスキルの向上と共通認識を図る必要があることから、主伐期を向かえた人工造林地を7班に分かれて、林分の状況・地理的状況・エゾシカ被害等・今後の施業をどうするかを考えてもらいながら現地踏査を実施。 各班毎に施業方法等を検討してもらい後日発表があったが、どの班も溪畔周辺区域は見合わせ区を設けることは共通していたが、伐採方法については、間伐・皆伐・複層伐・択伐とそれぞれの考え方が発表され、多くの質問意見が交わされた。 今後伐採(複層伐)を予定しており、伐採後に森林がどう推移していくか見守り、検証の場とする。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	23名			
多様な森林づくり	天然力を活用した多様な森林づくり現地検討会	10月30日	網走南部森林管理署	清里町(国有林)	国有林	38名	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地において針広混交林への誘導等の多様な森林づくりに対する共通認識を醸成する	主伐(複層伐)を計画している61年生のカラマツ人工林において、「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるため現地検討を実施。5班に分かれて林内全体を見ながら今後の施業について検討を行った。 検討結果については各班ごとに発表を行いそれに対して意見交換を実施し、現地状況を踏まえた多様な森林づくりの取組に対する認識を深めた。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業者	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	38名			

平成30年度 現地検討会実施状況

(森林計画等)

森林整備推進 協定	平成30年度 石狩市森林整備推進協定に伴う現地検討会	10月31日	石狩森林管理署	浜益国有林 5 4 4 林班	国有林	5 名	民有林間伐実施に向けた路網選定及び確定に係わる意見交換のため	石狩市浜益区(黄金山団地)では民有林のエリア内で路網を作設できない地形条件により間伐が進まない状況にあった。この地区を石狩市森林整備推進協定の対象とし、国有林側から民有林内に路網を作設することにより間伐の推進を図ることができないかを検討。路網作設(林業専用道規格)に関する選定及び意見交換などを情報共有した。また、31年3月上旬に関係者で現地確認することの確認も行った。	
					民有林	6 名			
					自治体	3 名			
					事業体	4 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	18 名			
現地にて意見交換									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」の森林施業に関する現地検討会	11月5日	上川北部森林管理署	士別市国有林 岩尾内担当区2021ほ林小班	国有林	27 名	職員の森林づくりに対するスキルの向上と事業体等との共通認識を深め今後の施業の方向性を確認する	次年度間伐を計画している43年生のトドマツ人工林において、「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるための検討会を実施。 事前に対象林分の調査簿データや写真を提供し、各自の考え方をイメージしてもらって、当日現地を確認・精査。班ごとに林分の評価や伐採方法及び除地や搬出路の設定について検討を行った。 それぞれの考え方を発表してもらい、その後の意見交換では、取組内容や施業に関する議論が行われ、新たな取り組みとして統一した認識を深めることができた。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	5 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	32 名			
検討会の様子									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」現地検討会	11月9日	根釧東部森林管理署	中標津町国有林 開陽601よ林小班	国有林	18 名	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、技術や知見の向上を図る	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、現地の状況に応じた柔軟な考え方の下、「国有林野事業における天然力を活用した施業実行マニュアル」に基づきながら、現地の人工林評価を行った。 意見交換会では「このような形で施業について話し合う機会がなく、参考になった」、「まずは森林の現況評価をしっかりとすることが大事」等の意見があった。 今後においても適切な森林の現況評価と多様な森林づくりに向けた技術等の向上を行う。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	8 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	26 名			
森林の現況評価を行う									
多様な森林づくり	「天然力を活用した多様な森林づくり」現地検討会	11月14日	根釧西部森林管理署	標茶町国有林 御卒別担当区4472ろ林小班	国有林	42 名	「天然力を活用した多様な森林づくり」を進めるにあたり、針広混交林への誘導に関する共通認識を深め、今後の施業についての方向性を確認する	多様な森林づくりによる人工林内の天然更新木に対する取扱いや今後の伐採や造林等の施業方法についての説明及び各班による検討・報告、意見交換を実施した。 現地検討では、広葉樹等天然更新木の取扱いなどについて共通認識を深め、皆伐調査から除外する箇所などについての設定・確認をした。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	9 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	51 名			
現地にて意見交換									
多様な森林づくり	多様な森林づくり現地検討会	12月3日	日高北部森林管理署	平取町国有林 仁世宇担当区1027林小班	国有林	17 名	「多様な森林づくり」を進めるにあたり、局署の職員と事業体に参加し、対象の林分(カラマツ林)で今後の施業方法等について現地検討を実施	道内の国有林の人工林の多くは、これから主伐期を迎えるに当たり、これまでの主伐→植栽→保育→間伐→主伐という画一的な施業でなく、収穫量の確保を図りつつ、コストの低減も達成するため「多様な森林づくり」の実施が重要となる。 署の出席者には、多様な森林づくりの検討に必要な対象林分の林況、写真等の資料を事前に提供し、更に当日、対象林分を精査・評価し、導く林分を描き、導入する手法について、意見交換を実施した。	
					民有林	名			
					自治体	名			
					事業体	2 名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	51 名			
現地検討の様子									